

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

133

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

巻頭インタビュー

継続の中にノウハウは宿る

皇學館大学 大学院特別教授

桜井 治男



コロナが怖いので私もしばらくマスクします。

伝説の鬼『多娥丸』

那智黒石製

鬼の大将金平鹿

平安時代初期、征夷代將軍・坂之上田村麻呂が鬼ヶ城を根城にして鬼と恐れられた海賊「多娥丸（タガマル）」を征討したという伝説が残っている。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

継続の中にノウハウは宿る

皇學館大学 大学院特別教授

桜井 治男

■追悼～在りし日を偲んで～ ————— 4

幸せな人生だったと…

～創設者 小林 充 さんを偲ぶ～

■なかま ————— 5

☆URAURA稲生発信中☆

放課後等デイサービスについて

■道のり ————— 6

三重大大学とのコラボ、ついに実現!

■春夏秋冬 ————— 7

行事・クラブ・活動紹介

■ハートフルリレー ————— 15

慈しみの心を持ち、みまもる

二見生活介護支援センター潮音 看護師 松葉 幸代

■職員の休日 ————— 16

まとまった休みがある時は、家族と出かけます

きれいサポートステーション

きれい福祉会館津 小林 悌司

■きれいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

表紙写真

獅子岩

鬼ヶ城とともに国の名勝天然記念物に指定され、世界遺産にも登録されている獅子岩。高さ約 25m、周囲約 210m の岩塊。獅子岩の南に位置する神仙洞の人面岩とともに熊野国総鎮守大馬神社の狛犬に見立てられている。

継続の中に

ノウハウは宿る

皇學館大学 太学院特別教授

桜井 治男

桜井 治男 生年月日／1949年3月5日 学位／博士(宗教学) 主な受賞歴／神道宗教学会奨励賞・伊勢市民功労賞・第28回南方熊楠賞(人文の部)

今回の巻頭インタビューは、皇學館大学社会福祉学部学部長を務められた、桜井治男教授です。桜井教授は宗教学を専門に研究されており、2018年には、第28回南方熊楠賞という大変権威ある賞を受賞されました。インタビューは南勢就労支援センター北川が担当します。よろしくお願いします。

Q1. 桜井教授の専門分野である宗教学について、どういったことを専門に研究されていますか。

桜井教授：私が研究している専門分野の「宗教学」というのは一般的には宗教というもの、を科学的に客観的に理解しようとする学問なんです。だから宗教を学び研究することによって自分の信仰を深めたりですね、自分の信仰を強くする、そういう学問ではありません。色々な宗教を比較して、宗教としての特徴って何なんだろう。あるいは宗教というもの、は社会に対してどういう働き、役割をもっているのか、宗教は人間の心にどのような関係を持っているんだろう。そういう事を研究するのが宗教学なんです。私は、宗教というもの、が、社会とどういう風な関わりを持っているか。そういった事を主に研究してきました。一般には、宗教社会学って呼ばれる領域ですね。

その中でも特に日本の宗教、日本人の伝統的な宗教といわれる「神道」というものを、宗教社会学的な観点から、研究をしてきました。

Q2. 第28回南方熊楠賞を受賞された時の気持ちと、受賞の研究テーマ等についてお話しいただけますか。

桜井教授：一番はやっぱ、南方熊楠賞という権威ある賞を受賞するという事で、ただただ驚きました。私みたいな、しかも中央で大きな研究活動している訳じゃないのに、地方でフィールドワークをやっているような研究者が、そんな大きな賞を頂いていいのかなというのが率直な気持ちです。戸惑いと合わせてとっても嬉しく思いました。



それと南方熊楠は、生物、植物学、その中でもメインは粘菌：粘菌は動物のようで植物という存在なんです。それを彼は関心を持って研究するんです。そして彼のフィールドワークの対象の中には神社の森がある。考えてみたら神社の森っていうのは多様な生き物の宝庫。熊楠にとって神社の森は大切な場所だったんですね。ところが明治の終わりに、当時の政府の政策として「神社の合併をせよ。」と森が切られていっちゃった。それに対して、彼は反対運動を行なった。それは貴重な森を失っただけではなく、日本人の信仰や精神をも廃れさせてしまうという事を訴えた。つまり彼はエコロジーの観点と、神社の森と人の関係という二つの観点から、合祀制作に批判をするんです。私は中央主導で行われた合祀政策に対して、じゃあ実際に生活している人々は、その政策をどんな風に受け止めているんだろう。何が問題だと感じたんだろうという事を、現地に視点を置いて、ずっと研究してきたんです。それに対してかなり評価を頂いたようです。

Q3. 日本の宗教と福祉の関係性についてお聞かせいただけますか。

桜井教授：今の福祉の領域の勉強っていうと一つ大きいのは援助技術論かと思うんですね。どのようにしてケアをするかというような問題がね。



しかしそれだけだろうか。根底には福祉を大事に捉え、関わって行くための、考え方がいるんじゃないか。その考え方っていうのは倫理観であったり、あるいは思想であったり哲学であったりとよく言われる。そういう中に宗教っていうものが、影響を及ぼしているのではないか。それから実践の方でも、キリスト教福祉とか仏教福祉とか、これまで実際に実践活動がなされてきました。これまで国が出来なかった部分を、民間が補ってきたという歴史があり、そう

いう部分を担ってきたのは戦前期で言えば宗教なんですよ。

つまり、宗教と福祉は、戦前期からの密接な関係にあり、福祉の持つアイデンティティそのものに宗教の考え方は多分に含まれている。そういう事なんですね。

Q4. 2005年に皇學館大学社会福祉学部学部長に就任された時のお気持ちを聞かせください。

桜井教授…もともと皇學館大学は文学部だけだったんですが、大学が昭和37年第二次大戦後に再興された時に三重県の方から「地域社会に貢献する大学を」と言われたそうです。そして当時、新しい学部を設置するのなら、どういう領域か。という事で当時の執行部が選んだのが社会福祉学部でした。7年程してから、私が学部長に就いたんですけど。やっぱり大きな組織ですし、毎年200人近くが福祉の資格が取れるカリキュラムを履修し卒業していく。その中の150名くらいが、福祉界へ行こうとする。相当数ですよ。その子らが頑張ってくれているから。出来ればその子らと大学とが常に交流し、さらに地域貢献を果たせる学部でありたい。そう思うにつに思っていました。

それから当時の標語としては、「地域で育つ。地域を育てる。」この両面でね、学生

さんの役割を最大限発揮してもらえたらと思っています。施設に行く人もあれば、行政に行く人もあれば、中にはそういう福祉で学んだ事が警察官になっても対人援助技術として活かせるというような事もありました。残念ながら今は無くなってしまいました。地域において一定の役割は果たせたのかなと思っています。

当法人でも、福祉学科を卒業した職員が何名かいます。皇學館大学福祉学科の卒業生に対して期待する事や、エールをください。

桜井教授…福祉業界、特に施設なんかで利用者さんと一緒に過ごしている卒業生の皆さん方にとってゴールはないと思います。即ち人間の生活は、いつも豊かな気持ちで、そして生活に必要なものも潤沢にそろった環境で、快適に過ごせるというのが理想ですよ。利用者さんが、日々満足に暮らせる。その目的の為に共に過ごしている訳ですから。ぜひこれは継続性という事を常に思いながら支援して頂きたいなと思います。

そしてその日々の実践の継続の中でノウハウは着実に蓄積されているんです。本当にそれは手を合わせたい程尊い事で、ぜひ体だけは気を付けて、これからも利用者さんのそばに寄り添い続けてほしいなと思っています。



幸せな人生だったと・・・

～創設者 小林充さんを偲ぶ～

「横山君、僕たちの同級生は何故こんなに早死にできなかったか」と寂しく話したのがつい先日、四月末の二人の会話。それが最後の言葉となりました。

高校一年生に出会った日から五十九年の月日が流れ去りました。

昭和五十七年鈴鹿市と亀山市の市境の小高い丘陵地であった鈴鹿市八野町に社会福祉法人伊勢亀鈴会を創設した小林充君。

その時までに既に三十歳でミタス観光代表取締役として実業家の第一歩を踏み出し、鈴鹿葬儀社、伊勢亀鈴会の設立を行い名実共に実業家として生涯を捧げられました。

地域活動も積極的に行い、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会副会長、同三重県理事長、鈴鹿商工会議所副会長、鈴鹿西ロータリークラブ会長、三重県生活衛生営業指導センター理事長など多くの要職を歴任。

それらの功績を称えられ天皇陛下より「藍綬褒章」「旭日双光章」を受賞、その他「三重県知事表彰」「厚生労働大臣表彰」など多くを受賞されました。

突然の訃報によりご家族の皆さんの悲しみは勿論のこと、多くの関係者の

皆さんにご心配をおかけし、亡くなられた後も沢山のお問合せを頂きました。ただ後日の「お別れ会」をご案内するのが精いっぱいでした。失礼の段はお許しを頂きたく思います。

幼い頃から鳩を飼いこよなく愛しておられました。「障がいのある利用者にはバードセラピーの効果がある」と常々私にも話してくれました。真っ白な鳩で尾っぽのところだけ一筋の黒い羽根の鳩が自宅や施設に数十羽小屋の中を狭しと飛んでいる鳩の姿を見るたびに心が痛みます。

若くして実業家を志し多くの功績を残す一方常に少年が鳩を追いかける幼い純真な姿を思い出すと彼にとって幸せな人生だったんだと自らに聞かせ慰める毎日です。

「長い間、ありがとう。お疲れさまでした。もう飛び回らなくても良いから、ゆっくり安らかに眠ってください」と職員及び同級生を代表して皆様に一言、お別れの言葉と致します。

社会福祉法人伊勢亀鈴会

理事長 横山 仁司





☆URARA稲生発信中☆ 放課後等デイサービスについて

今回の「なかま」は、昨年10月1日にオープンした放課後等デイサービスURARA稲生にスポットをあてました。

放課後等デイサービスでは様々な資格をもつ職員が協力し、そのスキルを支援に活かして仕事をしています。児童指導員と保育士は互いに子どもたちのプロなので、その日來られる利用者の皆様の為に、日々最善の支援ができるよう努力しています。

特に今年は新型コロナウイルスによって、利用者の皆様の生活にも大きな影響を受けました。卒園や春休みからそのまま長期のお休みになつてしまい、ご自宅とURARA稲生を往復されるのが日常となる中、感染から身を守り、安全で楽しくURARAで過ごしていただく為に奮闘する職員の日々の「コマ」を、今回は『保育士』の3人の目を通して紹介させていただきます。

Q1..それぞれ違う個性・特性を持った、小学生から高校生までの幅広い年齢層が同じ場所に集うURARA稲生の毎日。その中で気を付けていることは何ですか？

A1.. 館美智子 (保育士)

今の時期、まずは新型コロナウイルスをはじめとする感染症から利用者の皆様を守る事を第一に考えて、できるだけ安全な環境を整えるよう努めています。活動に関しては、毎回一人一人が興味を持って楽しんでいただけるよう、年齢や特性に寄り添った取り組みになるよう工夫しています。視覚優位の方が多いので、視覚支援をして見通しをもつて過ごしていただいています。

A1.. 佐藤円香 (保育士)

これまでは、個別療育(自立課題や学習支援)や集団療育(制作やゲーム、レクリエーション等)と外出イベントや公園などを上手く組み合わせて取り組んできましたが、新型コロナウイルス対策で屋外活動が制限された為、代わりに利用者様が大好きな『調理実習』を増やしました。昼食作りだけでなくおやつも自分たちで作って食べる体験をすることで、利用者の皆様の食に関する興味が広がってきていると感じます。肥満防止のヘルシーなおやつや、いざという時自分ひとりでも食べられるインスタント食品についても取り上げていきます。

Q2..これからのURARA稲生が目指していきたいこと



ペープサートがはじまるよ〜♡



どの味のジャムにしようかなあ？



よく炒めてね！おいしくなれ！

A2.. 武和弘美 (保育士)

オープンから半年が過ぎ、利用者や保護者の皆様が何をURARA稲生に求めているのか、それにどう寄り添わせていたideくのか..等が少しずつ見えてきた感じがしています。利用者の皆様の成長が何より嬉しいです。これから利用者の皆様ひとりひとりにきちんと向きあった丁寧な支援を、職員みなで力を合わせて頑張っていきたいです。

朝のラジオ体操からスタートし、10分清掃で遊んだ場所をきれいにして終わるURARA稲生での一日。新型コロナウイルスが収束したら博物館や水族館、アスレチックなどの見学や体験にもたくさん出かけられるよう、今から楽しい企画を考えています。

URARA稲生の「なかま」はひとりではありません。職員と利用者、保護者の皆様で「なかま」が紡がれているような気がします。これからも笑い声の響く事業所URARA稲生をどうぞよろしくお願いいたします。

道のり 三重大大学とのコラボ、ついに実現！

わくわくジャム設立から十余年、人気の高いイチゴジャムが新たに生まれ変わった。

酸味料・ゲル化剤など食品添加物不使用のイチゴジャムは自然な退色がある為、生産後きれいな赤色を保つのが難しいジャム。わくわくジャムのコンセプトである添加物・着色料使用しないきれいな色のイチゴジャムは長年の課題であったが、ついに三重大大学の協力を得て、色の退色を緩やかに出来る加工方法を見出す事ができた。

退色という自然の理の中で、美は美であることができる。わくわくジャムのイチゴジャムはまさにその典型である。

以前のイチゴジャムのきれいな色の期間は一ヶ月程と短い。共同開発に基づく製造方法にて色の保持期間を3カ月ほど延ばすことができた。

共同研究先の三重大大学、研究にご協力頂いた大井准教授に感謝を述べたい。

イチゴジャムは三重大大学との共同研究成果に基づき独自の加工方法で製造されています。



大井 淳史 アヴシャル
准教授 恵利子氏



八野生活介護センター

中庭でバーベキュー！

4月25日(土)、八野生活介護センターの中庭で、バーベキューを行なった。当日は天候に恵まれ、春らしい気持ちの良い日差しの中で、外の空気を楽しんだ。そして厨房のトモの協力の下、ハンバーガーと焼きそばが利用者さんに振る舞われた。外で食べる食事はまた格別で、みなさんも大きなハンバーガーを思いつきり頬張り、「ここでハンバーガーを食べられるなんて思わなかった」など、大変喜ばれた様子であった。



外で食べるご飯は格別



中庭に集合！



豪快にガブリ！



思わずにっこり

春が来た！



桜満開

八野生活介護センターに春が来た。桜が満開で、利用者さんもしきりに桜が綺麗と言われていた。4月3日(金)に入所の利用者のみなさんと一緒に外に出て桜を見に行き、ポカポカした陽気の中で気持ちよさそうにしていた。今年の春は風が強く桜が散るのが早かったが、施設内に桜の花びらが吹き込んできて利用者さんは大変喜ばれていた。デイルームでも春が感じられるように桜の壁画が飾られていた。利用者さんは、桜の花びらを一生懸命作り、完成した作品に喜んでいた。



きれいにできました!!



みんなで桜鑑賞!!

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

中庭で遊ぼう！

コロナの影響で学校が休校となり、朝から元氣いっぱいの利用者さんが遊びに来てくれる。外出や公園も自粛となり、外に出る機会も少なくなりましたが、URAURA八野には「中庭」がある。お天気の良い日には、ボールで遊んだり、みんなで日向ぼっこをしたり、良い気分転換になっている。時には「足湯」に入ったりも。「気持ちいい」と子どもたちにも大好評。「大きなシャボン玉」は、子どもたちもビックリであった。



足湯・・・気持ちいいね



大きなシャボン玉を作ったよ



みんなで日向ぼっこ



中庭でボール遊び

放課後等デイサービスURAURA稲生

「コロナに負けず、子どもたちは、元氣いっぱい！活動中!!」

4月に入り、URAURA稲生は新一年生をはじめ新たな利用者さんが増え、職員も一丸となり支援を行っている。

今回は室内活動、通称、稲レクをご紹介します。今も昔も変わらない昔遊び、「花いちもんめ」、「だるまさんがころんだ」を楽しみながら過ごしている。

また4月27日（月）には、手洗いの大切さを学ぶ為に石鹸作りに取り組んだ。楽しみながら学ぶをモットーに、手洗いの大切さを自分の石鹸を作る事で体験した。職員の説明を聞きながら、皆さん嬉しそうに作成していた。



花いちもんめ



見て、出来たよ



出来上がり



上手くできるかなあ

八野就労支援センター

春まつり

4月11日(土)、八野就労春まつりが開催された。ミニボウリング、高積み競争、くじ引きなど様々なミニゲームで大盛り上がり。今年はお花見へ行くことができないため、八野就労の桜をちぎり絵で作成。花びら1枚1枚に想いを込めて「どこに貼ろうかな？」とみんなで相談しながら、大きな桜の絵が完成。最後はみんなと一緒にハイポーズ！施設の入り口に飾られたちぎり絵は、明るさと活気を与えてくれた。



高積み競争



ボウリング ～目指せ！ストライク！～



どこに貼ろうかな？



じゃんけん、ポン！



施設の入口に飾りました



桜と一緒にハイチーズ！

八野就労大運動会

5月9日(土)は八野就労大運動会。選手宣誓は、利用者代表の伊藤健太さん。今日も元気に頑張るぞ！オーの掛け声からはじまった。2チームに分かれて玉入れ、ボール運び、棒立て、○×クイズなどの競技を行った。楽しい雰囲気の中にも、闘志をみなぎらせ、競技を行つ姿が印象的であった。また、競技だけでなく、応援合戦も行い、大盛り上がりの運動会となった。



棒立て真剣です



元気に選手宣誓



玉入れ



落とさないように慎重に・・・

きれいサポートステーション

お掃除検定

2019年から開始したお掃除検定。①机拭き・②掃除機かけ・③トイレ掃除の基本清掃の検定となっている。去年1年間で3つ全部合格された利用者さんは、「お掃除マイスター」として普段の清掃から施設外の清掃等で活躍している。2020年度はレベルアップをした掃除検定を企画し、更なる清掃技術の向上を目指している。



ピカピカに出来るかな?



プロフェッショナル!!

トイレ・机拭き・掃除機全て合格した人
「お掃除マイスター」

☆野崎 徹さん	☆土岐 周也さん
☆平田 美江さん	☆平松 寿之さん
☆森口 一正さん	☆加藤 美紗さん
☆中条 浩二さん	☆難波 春加さん
☆伊藤 里江さん	☆森川 勝行さん
☆久保田 悠里さん	☆奥田 有彩さん
☆井上 果穂さん	

合格おめでとうございます!
他の皆さんのお手本となり
清掃の腕を更に磨いてください!

合格



入魂の一投



入れ～



よく狙って…



男子優勝 樋口 強さん



女子優勝 野田 梨恵さん

今年は、コロナの影響で、三重県のフライングディスク大会が中止となってしまった。コロナも収束に向かいつつあるという事で、令和2年5月23日(土)にサポートステーション単体で、「サポート杯」と銘打ち、フライングディスク大会を、深谷公園で実施した。38名の参加があり、みんな優勝目指して、気合を入れて投げていた。人数が少なかった事もあり、男子は2ゲーム、女子は3ゲーム行う事が出来た。自粛が続いた中、広い公園でノビノビとスポーツを楽しむことが出来た。

サポート杯 開催

南勢就労支援センター

マスクde元気Gプロジェクト

4月30日(土)、「マスクde元気Gプロジェクト」に参加、手作りマスクの寄付を行った。「マスクde元気Gプロジェクト」とは、玉城町生涯現役推進協議会が企画したプロジェクトで、手作り布マスクを町内の小中学校や保育園、福祉施設などに無料配布するという企画だ。

コロナウイルスの影響でマスクの品薄が目立ち始めた3月頃、利用者さんの活動の一環として手作りマスク作りを始めた。開始当初は携わる利用者さんも少なかったが、コロナウイルスが世界規模での拡がりを見せ始めると「僕も、私もマスクを作れるようになりたい」と多くの利用者さんがマスク作りに名乗りを上げ、多い日には10人程がマスク作りに取り組んで下さった。

今回私たちが寄付したマスクは、マスクが不足している高齢者施設へ届けられる予定だ。

「地域に貢献できてとても嬉しい」と利用者さんからは喜びの声が多数上がっている。今後もこつした地域貢献活動に、積極的に参加していきたい。



みんなに届け



マスク作りの様子

レクリエーションバグゴ

ゴールデンウィーク初日の5月4日(月)、南勢では、新しいレクリエーションゲームに挑戦した。そのゲームの名前は「バグゴ」。バグゴとはアメリカ生まれのゲームで、遠く離れたプラスチック製の台めがけて、15センチ角のビーンバックというお手玉のような物を投げ合い、その得点を競うゲームだ。

チーム分けを行い、ルール説明を兼ねた練習試合を行った後、いざ本番開始!!予選リーグと決勝トーナメントを行い、No1チームを決めた。

対戦中のチーム以外は、周囲に集まって観戦。穴に入ると大きな歓声と拍手で、投げた利用者さんを祝福した。

下手投げから柔らかく狙う方、気合の掛け声とともに上手から直線的に狙う方、投げ方は人それぞれ。中には3連続や4連続で成功させるバグゴ名人も現れた。

どの試合もどつ

ちのチームが勝つか分からない白熱したゲーム展開で、大会は大盛り上がりだった。第二回大会をお楽しみに。



セイ!!



よく狙って～

第2南勢就労支援センター

自分達がやりたい事を自分達の手で

2019年第2南勢就労支援センターでは利用者さんが取り組みたい内容を利用者自身で考え取り組んできた。その取り組みとは、ダンスの披露と映画の撮影だ。ダンスはまつりでの披露に向けて月一回の練習に励んだ。曲目としては20曲の中から利用者さんと話し合い北の森まつり、南の杜まつりともに披露でき、観客との一体感もあり大いに盛り上がった。

また、映画の撮影も利用者さん自身の手で行われている。脚本から衣装作り、カメラワークなど試行錯誤の中、それぞれの役割を担い、一つの作品の制作にとりかかった。

与えられたものではなく、自ら生み出す喜びを共有出来た。

その意向を受け継ぎ、2020年は勉強に取り組むことにした。外出の機会が失われた中、やりたい事を話し合い出たのが勉強をやりたいであった。

利用者さん参加のもと、勉強したい項目を話し合い、年間を通じ勉強の計画をみんなで立てた。

算数、英語、漢字、日本史など様々な項目に、興味を示している。特に関心が強かったのが道路交通法だ。自動車免許の取得へ意気込みが感じられる。項目は違えど勉強の先には1人になった時に役立つ様にと自立に向かった取り組み姿勢があり、職員も自立支援に向けての考え方を改めて考えさせられた。



(映画撮影の一場面)
ポケモンげっとたぜ!



パブリカ始まるよ



Y M C A



道路標識を答えて

宮の里ミタスメモリアルホーム

春祭りでマジックショー&のど自慢大会

令和2年4月9日
(木) 宮の里で春祭りが行われた。

天気の良い日だったので、外にテーブルを出しポカポカ陽気の中、おいしいカレーをみなさんで食べて楽しんだ。

お昼御飯を食べられ、春祭りが始まりだ。

ミスターNとアシスタントの謎の美女による、マジックショーが始まり、透明な液体が入ったペットボトルが瞬時に色が変わったり、リングが繋がったりと、驚きのマジックを披露し皆さんも喜んでいた。

次に行われた職員さん、利用者さん参加の、のど自慢大会。

みなさんの十八番の歌を披露し大いに盛り上がっていた。



外で食べると気持ちいい



カレーおいしい!!



ミスターNと謎の美女アシスタント(職員)



カラオケ最高!

手作りマスクで感染症予防



たくさん手作りマスクありがとう!



ステキな手作りマスク



いいつけ心地

コロナウイルスの影響でマスクが手に入り辛くなっている中、車いすダンスでお世話になっているブラッシュの先生や子どもたちが、活動を中止にしている最中、ガーゼでマスクを作っていたいただき、宮の里に寄付して頂いた。

ブラッシュの先生や子どもたちが作って頂いたガーゼマスクと宮の里の職員が作った布マスクは利用者さんや職員が着用し予防している。

マスクを着用し、3密を避け、手洗い・うがいをしっかりすることでコロナウイルス対策を行っていく。

二見生活介護支援センター潮音

土曜日の通所サービス始まる！

3月より土曜日の通所サービスを開始した。新型コロナウイルス感染症のこともあり自粛ムードの中、施設内で楽しく過ごせる活動を組み、実践に至っている。

3月14日(土)は、予定していた行事の「いちご狩り」の代わりに「いちごパーティー」を行った。いちご、ケーキ、ゼリーなどをバイキング形式で楽しんだ。

4月11日(土)は、「ボッチャ交流会」。ボッチャを通じて利用者さん同士の交流を深めることができた。日頃出会わない利用者さんたちが、一緒にスポーツを楽しんでいる姿に職員も思わず応援に力が入る。施設内に大きな笑いの渦が沸き起こっていた。

5月9日(土)は、「ミニ室内運動会」。お決まりのお菓子食い競争やボール運びは、長い廊下を使って行われた。職員もハンディをつけ競技に参加。普段では見られない様子に、利用者さんは大喜び！また一步、利用者さんとの歩みを進めることができた。さて、次はどんな笑顔が見られるか楽しみである。



釣れた 釣れた



わーいゲット！



しょうぶの貼り絵



どれにしようかな？

「個別タイム」スタート！

4月から「個別タイム」がスタートした。より充実した個別活動を行うため、個別の支援計画の中で聞かせて頂いている内容や、その日の気分で過ごし方を選んでいただいて、お一人おひとりが、思い思いに過ごされている。皆で参加する日中活動とは違い、ゆったり担当職員と利用者さんが寄り添いながら心を通わせる素敵な時間となっている。現在は創作活動・リハビリ・ゲームなどで楽しまれている。

また、利用者さんからも、「普段やって欲しかったことをしてもらった」「ゆっくりお話を聞いてもらえて良かった」などの感想がいただけた。

今後も、準備をしっかりと整え、更なる個別タイムの充実を図りたい。



慈しみの心を持ち、みまもる

二見生活介護支援センター潮音 看護師 松葉幸代

私は、二見生活介護支援センター潮音で看護師として勤務させて頂いている松葉幸代といいます。

一昨年に伊勢市に引越して来て、ご縁があり潮音の一員となり二度目の夏を迎えます。さて、いきなりですが、皆さんは私の職種・看護師の『看護』という言葉の意味・由来をご存知でしょうか？

看護、の『看』は左手を眉の上にかざして見ることから、『よくみる』『慈しみみる』を意味し、『護』は『まもる』を意味する事から看護とは『慈しみの心を持ちみまもる事』という意味なのだと思います。

私自身、看護師歴は長いものの障がいをお持ちの方が対象となる職場での経験はなく、最初は不安や緊張があり職場のみなさんや利用者さんに迷惑をかける事もありましたが、看護の原点である前記の言葉の意味を念頭に置いて、利用者さんに接する事で不安や緊張を払拭できました。

私達の仕事は日々変化する利用者さんの気持ちや体調に寄り添い、対応していかなければならないので、マニュアルや正解は

ありません。ですが、少しでも利用者さんに『安心、安全、快適』に潮音での時間を過ごして頂けるようこれからも『慈しみの心を持ちみまもる事』を大切にし、利用者さん、そのご家族様に潮音を利用して良かったと思って頂けるように頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。



手洗い講習



日帰り旅行



食事介助

職員の休日

OLIDAY

まとまった休みがある時は、家族と出かけます

きれいなサポートステーション きれいな福祉会館津 小林 悌司

最近はお出かけられませんが、まとまった休みがある時は家族と出かけることが多く、金沢や滋賀、和歌山に旅行してきました。ポルトヨーロッパ、皆さんご存じですか？地中海の港町を再現した非常に綺麗な場所です。街並みを眺めるだけでも楽しく、年甲斐もなくはしゃいでしまいました（笑）写真スポットもたくさんあるので、モデルになった気分写真撮るのもオススメです。そして、もう一度訪れたかったアドベンチャーワールドにも行ってきました。人混みをかき分けて目にしたパンドはとてもかわいくて、クギ付けでした。また、醍醐味の列車タイプの専用車に乗り、サファリ内を一周したり、徒歩で探検したりし、一日中遊び尽くしました。



職員の休日我が家の庭（手入れ中）



PORTO EUROPA



アドベンチャーワールド
（ラッコの拍手）



アドベンチャーワールド
（パンダ自販機）



アドベンチャーワールド
（彩浜 さいひん）



金沢能楽美術館
（般若との舞い?）



フィギュアミュージアム（ケンシロウにアチャコ!）

〜娘から見た父親の休日〜

はじめまして、娘ですー父がいつもお世話になっております。皆さんはどのように「おうち時間」を過ごされていましたか？ここで少し、父親のリアルな休日をリポートしたいと思います。朝の三時〜四時に起床。もはや夜中です。最近ハマっている浜辺美波さんが出演する映画を鑑賞（ちなみに三回目です）。その後、私が仕事の日は職場まで送ってくれます。いつもありがと。

天気の良い日は、昼頃になると庭をいじり始めます。この間ふと見た時は木に登っていて、猿が現れたのかと思いました。少し肌寒くなってくる夕方頃、庭いじりから戻り風呂に入ります。その後、お酒を片手に、また浜辺美波さん出演の映画を見始めます。同じシーンを何回見させられたことか。夕食の時間、重たい顔を必死に開けながら夕食を食べ、その後すぐ寝てしまいます。赤ちゃんか。

こんな自由な父ですが、これからもよろしく願っています。

八野生活介護センター

放課後等デイサービスURAURA八野

宮の里ミタスメモリアルホーム



ヴォティタンガム 北川 理恵 看護師



河津 安紀



江藤 綾子



阿部 馨太郎 理学療法士

南勢就労支援センター

第2南勢就労支援センター

きれい会事務所



林 美来



杉原 博史



桜井 一良



水谷 美恵

人事異動

きれいサポートステーション	⇒	経営企画本部	高木 賢司
八野生活介護センター	⇒	営業本部	伊藤 孝行
八野就労支援センター	⇒	URAURA稲生	中東 究
八野生活介護センター	⇒	八野就労支援センター	橋爪 美保
伊勢社会的事業所	⇒	宮の里ミタスメモリアルホーム	鍋島 陽一郎
八野生活介護センター	⇒	宮の里ミタスメモリアルホーム	磯部 崇
URAURA稲生	⇒	福祉葬祭三重	十川 晋明
第2南勢就労支援センター	⇒	伊勢社会的事業所	佐藤 正浩

編集後記

133号の編集長を務めさせていただきました。また道のりの記事にも携わらせて頂きました。一つ一つの記事に編集委員一人一人の思いが込められた一冊になっております。福祉の理解への促進や、伊勢亀鈴会への興味への入り口になって頂けたら幸いです。作成にあたり多くの方へのご協力に対しこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

編集長 第2南勢就労支援センター 本山

たくさんの方にご支援いただきました。
協賛企業 準備中です。※詳細は割愛させていただきます。

撮影者 宮の里ミタスメモリアルホーム 加藤 達也 通信員

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。利用者と楽しめ(卓上ゲーム等)園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:中野 TEL059-378-8881
宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:塩見 TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音 担当:岡島 TEL0596-72-8822

きれい通信 ちょっと寄り道!!



鈴鹿パーキングエリア

2019年3月、鈴鹿パーキングエリアがオープン。

上下線どちらからでも利用できる集約型の施設で、中部圏と関西圏をつなぐ拠点となるパーキングエリアである。モータースポーツのまち鈴鹿にちなんで「PIT SUZUKA」と愛称付けられ、お土産コーナー、フードコートなどが9店舗ある。

また、施設内は鈴鹿市の地域産業・伝統工芸の振興発信の場となる地域連携スペースを設け、レーシングカー、鈴鹿墨や伊勢型紙などを展示されている。

Access

住所: 三重県鈴鹿市山本町
営業時間: 店舗により異なる
アクセス: 新名神高速道路沿い
新四日市JCTと亀山西JCT間



指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130 FAX059-392-5131
指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体いいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ
(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531
指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911
指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050
指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp
指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5858 FAX0596-58-5033
指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823
指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail nansai@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711 FAX0596-55-3535
e-mail nansai2@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025
社会的事業所
まかせ太君 (鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119
社会的事業所
まかせ太君 (伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451